

▼人口のうごき

人口 115,655人 (-8人)
男 55,418人 (-10人)
女 60,237人 (+2人)
世帯 46,953世帯 (+30世帯)

平成19年9月末日現在
住民基本台帳登録数()内は前月比

▼テレホンサービス

- 市政だより 0897-53-1500 (常時)
- 当番病医院 0897-58-2200 (常時)
- 災害情報 0897-55-5551 (発生時)
- 民話テレホン 0897-52-1270 (常時)

▼編集後記

日ごと涼しくなり、本格的な秋を迎えようとしています。今年も市内の各所で催された秋祭り取材に訪れました。そこで感じたことは、子どもたちをはじめ、お年寄りや若者が集い、地域のみんなで和気あいあいとする姿に、私はお祭りの本質を見た気がします。地域のみんなが一緒になって語り合い、飲んで、食べて、騒いで、笑い…。そうした地域の一体感と融和が、その地域の、そしてまち全体の結集した「力」になるのだと思います。地域のみんなが集える機会、いわゆる先人から受け継がれてきた伝統行事を、子どもたち、孫たちへ大切に引き継いでいきたいものですね。(ト)

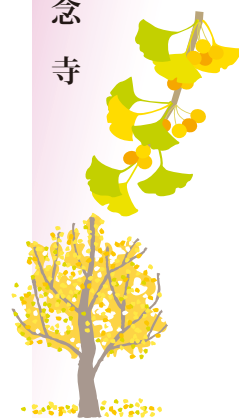


▲ 約180年の歴史を持つ立派な本堂

◀ 山門(写真右下)と比べてもその大きさがわかる銀杏の大木

ふるさと探訪

第30回 専念寺



専念寺は慶長8(1603)年、村上龍之進により創立されました。当時は小松藩大頭村にありましたが、後に現在の地である丹原の徳能に移されました。また、専念寺という寺号は宝永元(1704)年に公称されたものです。現在の本堂は、文政12(1829)年に再建されたものであり、鐘樓堂は昭和29年9月20日の台風15号により倒壊したため、翌30年に再建されたものです。ここ専念寺には樹齢が約360年にもなる銀杏の大木があります。この銀杏の木は寛永20(1643)年に第2代の住職である了善が、開基である村上龍雲の一周忌法要を記念して植えたもので、記録によると文政12

(1829)年の台風の時に、幹の中心から半分折れたり、戦時に米軍機の目印になるといって、戦時中米軍機が50センチメートルで切られたりした受難の時代もありましたが、現在は元のような堂々とした威容を誇っています。この木は、昭和57年11月20日に旧丹原町の天然記念物に指定されました。

- 住所 丹原町徳能383
- 駐車場 あり(無料)



西条バードウォッチング

Saijo Bird Watching

No. 27 ミヤコドリ (旅鳥)

黒い背中と白い腹、真っ赤な長くちばしが鮮やかな数少ない旅鳥です。英名はオイスターキャッチャー、二枚貝を先の尖ったくちばしでこじ開けて食べます。西条では、貝があまりいなくなった加茂川河口で見られなくなり、最近では高須海岸に時々現れています。



撮影：十亀茂樹